【表紙】

【提出書類】	臨時報告書の訂正報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年７月13日
【会社名】	オリンパス株式会社
【英訳名】	OLYMPUS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員　　笹　宏行
【本店の所在の場所】	東京都八王子市石川町2951番地
【電話番号】	東京3340局2111番（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部長　　増田　孝
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿２丁目３番１号　新宿モノリス
【電話番号】	東京3340局2111番（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長　　新本　政秀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

当社は、平成28年６月28日開催の取締役会において、会社法第236条第1項、第238条第1項及び第2項並びに第240条第1項の規定に基づき、平成28年７月13日に新株予約権の発行を行うことを決議し、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第２号の２の規定に基づき、臨時報告書を提出いたしました。この度、同報告書の提出時において未定となっておりました事項が確定いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第５項の規定に基づき、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正内容】

訂正箇所は＿＿＿を付して表示しております。

(3) 発行価格

(訂正前)

次式のブラック・ショールズモデルにより以下の②から⑦の基礎数値に基づき算出した１株当たりのオプション価格（１円未満の端数は切り上げ）に以下の(5)に定める付与株式数を乗じた金額とする。

$$C = Se^{-qT}N(d) - Xe^{-rT}N\left(d - \sigma\sqrt{T}\right)$$

ここで、

$$d = \frac{ln\left(\frac{S}{X}\right) + \left(r - q + \frac{\sigma^2}{2}\right)T}{\sigma\sqrt{T}}$$

① １株当たりのオプション価格 (C)

② 株価 (S) ：平成28年７月13日の東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（当日に終値がない場合は、翌取引日の基準値段）

③ 行使価格 (X) ：１円

④ 予想残存期間 (T) ：15年

⑤ ボラティリティ (σ) ：15年間（平成13年７月14日から平成28年７月13日まで）の各週の最終取引日における当社普通株式の普通取引の終値に基づき算出した株価変動率

⑥ 無リスクの利子率 (r) ：残存年数が予想残存期間に対応する国債の利子率

⑦ 配当利回り (q) ：１株当たりの配当金（直近２期の実績配当金の単純平均値）÷上記②に定める株価

⑧ 標準正規分布の累積分布関数 $(N(\cdot))$

※割当てを受ける者が当社に対して有する報酬請求権と、本新株予約権の払込金額の払込債務とが相殺されるものとする。

(訂正後)

新株予約権１個当たり358,200円（１株当たり3,582円）

(4) 発行価額の総額

(訂正前)

未定（割当日である平成28年７月13日に確定する。）

(訂正後)

141,489,000円